

固定資産台帳(H30.3.31現在)の概要

固定資産台帳は、事業を行うための資産及び道路・河川などのインフラ施設等の固定資産について、その取得と除却処分までの情報を把握・管理するとともに、全国統一的な基準に基づく財務書類の前提となっているものです。

本県の有形固定資産の合計では、取得価額が2兆7,164億円、減価償却累計額が1兆518億円、差引きの現在簿価額が1兆6,645億円となっております。

また、現在簿価額のうち、事業用資産が4,572億円、インフラ資産が1兆1,958億円、物品が115億円となっております。

なお、有形固定資産(土地、立木竹、建設仮勘定等の非償却資産を除く)の取得価額に対する減価償却累計額の割合を「有形固定資産減価償却率」といい、耐用年数に対してどの程度経過しているのかを把握することができますが、本県においては45.8%となっております。

(単位:百万円)

	取得価額	減価償却累計額	現在簿価
事業用資産	648,696	191,505	457,191
土地	155,691	0	155,691
立木竹	136,491	0	136,491
建物	333,563	180,028	153,535
工作物	20,210	11,477	8,733
船舶	0	0	0
浮標等	0	0	0
航空機	0	0	0
その他	0	0	0
建設仮勘定	2,741	0	2,741
インフラ資産	2,052,140	856,332	1,195,808
土地	111,991	0	111,991
建物	25,337	13,492	11,845
工作物	1,899,745	842,840	1,056,905
その他	0	0	0
建設仮勘定	15,067	0	15,067
物品	15,537	4,005	11,532
有形固定資産合計	2,716,373	1,051,842	1,664,531

※ 表示単位未満四捨五入の関係で積上げと合計が一致しない場合がある。

$$\star \text{有形固定資産減価償却率} = \frac{\text{減価償却累計額(1,051,842百万円)}}{\text{土地・立木竹・建設仮勘定を除く取得価額(2,294,392百万円)}}$$